

(平成 29 年 11 月 試験研究業務月報)

研究課題：高病原性鳥インフルエンザ発生リスク低減技術開発のためのネズミ侵入経路の
解明

研 究

養鶏場へのネズミ侵入防止についての研修会

当センターでは本年度から高病原性鳥インフルエンザウイルスを鶏舎内に持ち運ぶとされるネズミの行動調査と鶏舎内への侵入防止対策に取り組んでいます。

大規模養鶏場の鶏舎から卵を集めるバーコンベアの開口部などにセンサーカメラを設置し、ネズミの侵入経路と侵入防止対策について家畜保健衛生所職員及び大規模養鶏場の農場長を対象に研修会を行いました。

研修会では鶏舎でのネズミの糞、こすり跡、かじり跡といったラットサインの見つけ方と特にチェックすべき場所や侵入防止対策の具体例について指導を行いました。

現在、国内では野鳥から本病ウイルスが確認され、本病の発生リスクが高まっており、引き続き関係者と一体となってウイルスの侵入防止対策に努めます。



調査協力グループ各農場長等への研修会



各家畜保健衛生所で職員への研修会



こすり跡



かじり跡

(ネズミ通路は茶色部)



改良前

集糞ベルト開口部



改良後

使用時開口



改良後

使用時以外は閉鎖